

小原歌舞伎伝承事業実行委員会

小原地区の伝統芸能である小原歌舞伎を、将来にわたって伝承するとともに、小原歌舞伎の普及、人材発掘や人材育成を行うために平成21年に設立されました。小原歌舞伎保存会の年2回の公演を支援するほか、サポーター制度の運営や、小原地区内外での出張講座のサポート、YouTubeでの情報発信を行うなど、小原歌舞伎の魅力を発信する活動を行っています。

公演開催支援



後継者育成事業



サポーター制度運営



✂ 切り取り

小原歌舞伎サポーター申込用紙

小原歌舞伎伝承事業実行委員会 行

小原歌舞伎サポーターに登録します。

氏名		
住所	〒	
連絡先	()	
申込口数	口	
保護者承諾欄	中学生以下の方の登録の場合、保護者の方が左欄に✓をお願いします。	

提出先/申込用紙に会費をそえて、豊田市役所小原支所又は小原交流館へ

豊田市歌舞伎伝承館



歌舞伎伝承館は、市内に伝わる歌舞伎の魅力に触れていただくための施設です。

- 歌舞伎資料の展示
(衣装、小道具、台本など)
- 定期公演の公開練習
(五月公演2〜5月／文化まつり公演7〜10月)
- 小原地区の歴史資料の展示

歌舞伎の
体験講座も
開催しています



〒470-0562 愛知県豊田市永太郎町落681-1 (小原交流館内)
Tel.0565-65-3711

開館時間:午前9時〜午後5時(小原交流館は午後9時まで)
休館日:毎週月曜日(祝日を除く)、年末年始



■アクセス

【公共交通機関】名鉄豊田市駅から、とよたおいでんバス小原・豊田線 上仁木行き「永太郎」バス停下車
【自動車】猿投グリーンロード中山IC、または東海環状自動車道豊田藤岡ICから岐阜県方面へ約25分／中央自動車道瑞浪ICから豊田市街地方面へ約30分

豊田市無形民俗文化財

小原歌舞伎



問合せ 小原歌舞伎伝承事業実行委員会 事務局
(豊田市役所小原支所)
Tel. 0565-65-2001
E-mail : obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

歌 小原歌舞伎の歴史

小原歌舞伎は、江戸時代中期に神社へ奉納する地芝居として始まりました。明治時代には、「万人講」という一座を結成し、県内外で人気を博しますが、徐々に衰退し、昭和35年に活動を休止しました。しかし、昭和47年7月の豪雨災害で被災した小原を元気づけようと活動を再開し、昭和50年には、小原歌舞伎保存会が設立されました。平成元年には価値ある伝統芸能として(旧)小原村無形民俗文化財に指定され、平成17年の豊田市との合併後も豊田市無形民俗文化財として引き継がれています。

歌 小原歌舞伎の特徴

力強い所作

首の振り方や手の動きなど、ダイナミックな動きに注目です。



自前の演者

太夫(語り手)や三味線をすべて自前で演奏しています。舞台を彩る大道具も保存会の会員によって組み立てられています。



女性や子どもの活躍

歌舞伎は一般的に男性が演じることが多いですが、小原歌舞伎では女性も多く活躍しています。地区内の小中学校でも、授業の一環として歌舞伎に取り組みんだり、定期公演にも出演したりしています。



歌 定期公演について

年に2回、小原交流館「ザ・小原座」にて定期公演が開催されます。江戸時代から受け継がれる伝統芸能の魅力を存分にお楽しみください。観劇は無料です!

五月公演 5月



小原歌舞伎
最大のイベント!

文化まつり公演 10月



見どころは
子ども歌舞伎!



小原歌舞伎に参加しよう!

役者、奏者、裏方さん大募集



小原歌舞伎は、地域の人たちを中心に演じられています。伝統文化に触れてみたい方、歌舞伎に興味がある方など、どなたでも大歓迎です。ぜひ一緒に魅力的な舞台をつくりましょう。役者のほか、三味線奏者や太夫(語り手)さん、舞台設営などの裏方さんも募集中です。関心のある方は、お気軽にご連絡ください。



YouTubeで小原歌舞伎を知ろう!



もっと多くの方に小原歌舞伎を知っていただき、ファンになってもらいたいとの思いから、YouTubeチャンネルを開設し、動画の配信を行っています。



チャンネル
登録してね

✂切り取り



小原歌舞伎を支援しよう!

小原歌舞伎サポーター募集

サポーター登録をして小原歌舞伎を応援しよう!

会費: 年1,000円/1口

特典: 『小原歌舞伎通信』の送付



会費は、小原歌舞伎伝承のための体験講座や活動備品等の事業費のほか、小原歌舞伎保存会の様々な活動を支援するために使われます。

裏面の用紙を切り取って申し込みができます